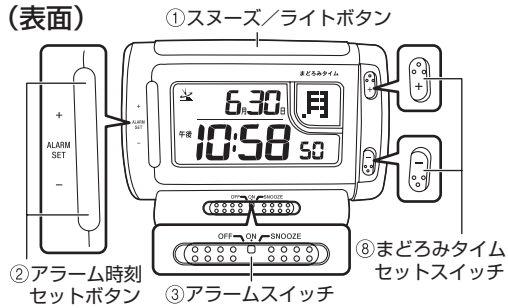
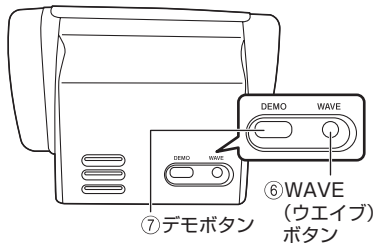


## 各部の名称と表示の見方

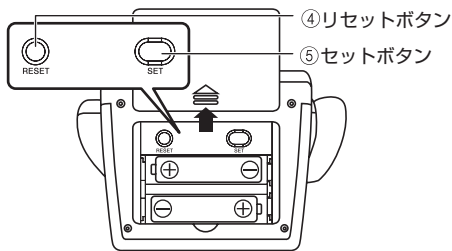
## (表面)



## (裏面)



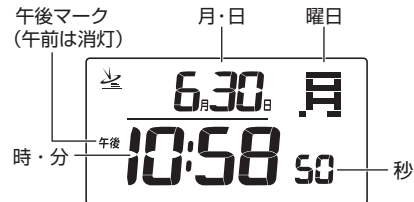
## (底面、電池プタを開けたところ)



※機種により形状等が異なることがあります。

- ① スヌーズ/ライトボタン  
押すと4～5秒間ライトが点灯します。  
※アラーム報音中に押すと音が止まります。
- ② アラーム時刻セットボタン  
アラーム時刻(または現在時刻など)を合わせるときに使います。
- ③ アラームスイッチ  
アラームのOFF/ON/スヌーズの切り替えができます。
- ④ リセットボタン  
電池交換後、必ず押します。
- ⑤ セットボタン  
現在時刻などを合わせるときに使います。
- ⑥ WAVE (ウェイブ) ボタン  
押すと電波受信を行いません(手動受信)。
- ⑦ デモボタン  
押すとアラーム音を試しに聞くことができます。
- ⑧ まどろみタイムセットスイッチ  
まどろみ時間をセットするとき使います。

## ●表示の見方



## 電源について

- 本機は単3形マンガン乾電池を2本使用します。
- 乾電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

## お願い

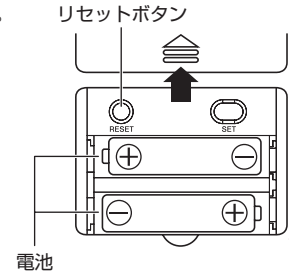
機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

## ■電池交換のしかた(電池は全て交換してください)

- (1) 電池プタを開け、古い電池を取り出します。
- (2) 新しい電池の⊕ ⊖を間違えないようにして完全に押し込みます。
- (3) 電池交換後、リセットボタンを押します。
- (4) 電池プタを閉じます。

## &lt;ご注意&gt;

- 電池の⊕ ⊖の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗しますと誤動作(リセット・時刻狂いなど)や液晶表示が「薄くなったり」「消えたり」します(アナログ時計の場合「時計が遅れたり」「針が止まったり」します)。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください(定期的な交換をおすすめします)。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池\*のため、記載の電池寿命(約1年)に満たないうちに切れることがあります。  
\*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
- ※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずすぐにふき取ってください。



## 本機の使い方

本機ご購入後初めて使用する時、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。  
 ※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

### 1 電池を入れます (「■電池交換のしかた」参照)

本機底面の電池フタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。

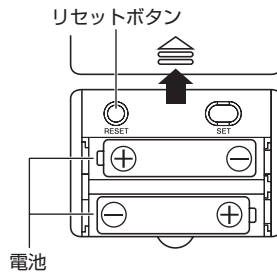
### 2 リセットボタンを押します (リセット操作)

本機底面のリセットボタンを押します。

→時刻表示が「午後 12:00 00」となります。

※電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。

※リセット操作が終わったら電池フタを閉じます。

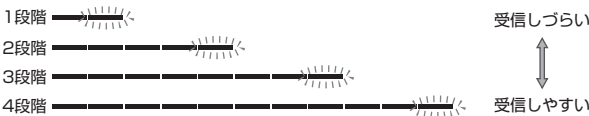


### 3 本機を使用したい場所に置きます

「午後 12:01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないますので、窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。

※受信中は受信インジケータで受信状態をお知らせします。

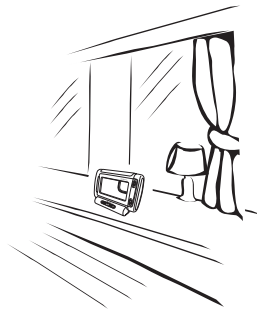
〈受信インジケータ〉



- ・受信開始後、受信状態により段階的に変化します (4段階)。
- ・受信しやすい場所でも4段階まで表示するのに約4秒程度かかります。
- ・天候、時間、環境等により電波の状態は変化します。
- ・受信インジケータは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

※1回の受信は約2～14分間 (リセット直後は約4～14分間) です。

※受信中はボタン操作を行なわないでください。

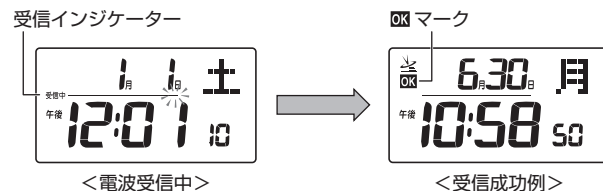


### 受信成功

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻/月日 (曜日) に修正されます。また、OKマークおよび☼マークが点灯して受信成功をお知らせします。

※受信成功后、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。

※場合により「時」「分」「秒」のみ正しく表示することがありますが、その後受信成功すれば、「月」「日」「曜日」も正しく表示されます。



### 受信できない … 時刻修正は行ないません。

約14分後に受信は止まります。

※このときは、置く場所を変えてWAVEボタンを押すか、時刻セットボタンで時刻を合わせてからWAVEボタンを押して、もう一度受信開始させてください (「時刻の合わせ方」「●電波受信についてご注意ください」参照)。

・WAVEボタンを押すと、電波受信を開始します。…**手動受信**

※WAVEボタンを押さなくても「午後 1:01」になると、再び自動受信を開始します。(毎時1分、24回/日)

※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

※電波受信が全くできない場合でも、月差±30秒の精度で計時します。

受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

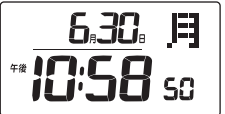
### 4 1～2週間電波受信の様子を見ます

本機は、通常毎時1分 (1日24回) に電波受信を自動的に開始します。

“☼” が常に点灯している、または点灯しているときが多い



“☼” がまったく点灯しない、またはたまにしか点灯しない



電波受信は良好

そのまま、その場所でお使いになれます。

電波受信しづらい

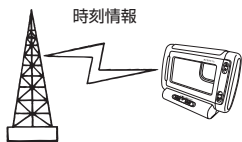
その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。  
 その場所で使用するときは、ときどき受信可能な別の場所で電波受信を行なってください。

## 電波時計について

### ●電波時計とは

正確な時刻情報 [日本標準時] をのせた長波標準電波 (JJY) を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム原子周波数標準器」等により制御されています。



電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

### ●標準電波

標準電波は独立行政法人通信総合研究所 (CRL) が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」(60kHz) から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

### ●電波の受信範囲の目安

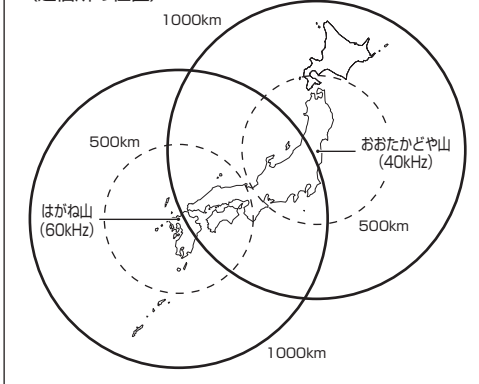
条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。

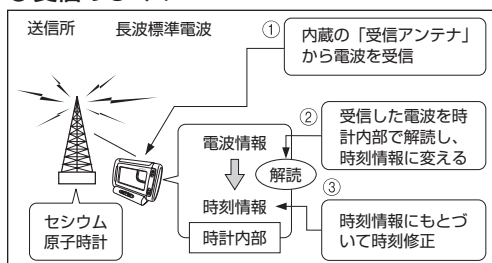
※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯 (昼/夜) などによっては受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方が受信しやすくなります。

#### 〈送信所の位置〉



### ●受信のしくみ



### ●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz) と「はがね山標準電波送信所」(60kHz) の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます (自動選局機能)。通常は毎時1分に電波受信を自動的に行ないます (自動受信)。

※1回の受信は約2~14分間 (リセット直後は約4~14分間) です。

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻 / 月日 (曜日) に修正されます。また、OKマークおよび $\Sigma$ マークが点灯して受信成功をお知らせします。

**OK** マーク…現在の時刻台に電波受信が成功していることを表します。(例：現在が午後2時35分の場合、午後2時台に受信成功していることを表します)  
※時刻台が変わった場合、または手動受信を行なった場合は消灯します。

**$\Sigma$**  マーク…1日1回以上、電波受信が成功していることを表します。(正しい時刻が表示されているかどうかの目安になります)

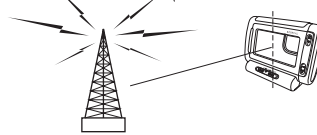
※ただし、受信成功していても午前2時と午前3時になると一度消灯します。その後受信成功すると、再び点灯継続します。

### <正しく受信するために>

- 電波受信できる場所でお使いください (「●使用場所について」参照)。
- 本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります (本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります)。

#### 最も受信しやすい設置のしかた

- ・時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする
- ・金属板の上などを避けて窓際で行なう



- 受信中 (受信インジケータ表示中) に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中に WAVE ボタンを押すと、受信を中断します。

### <ご注意>

- アラーム時刻セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間に WAVE ボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。
- アラーム ON でアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません (例：アラーム時刻 = 午前7時15分のとき、午前7時1分の自動受信は行ないません)。
- 電波受信を行なわない間は、月差±30秒以内の精度で計時します。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

### ●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。



マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺 (ビルの谷間など)  
※但し、窓ぎわで使用すると受信しやすくなります。



高圧線、架線の近く



乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)



家庭電化製品、OA機器のそば、金属板の上 (テレビ、スピーカー、FAX、パソコン、携帯電話など)



電波障害の起きるところ (工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど)



山の裏側…など

